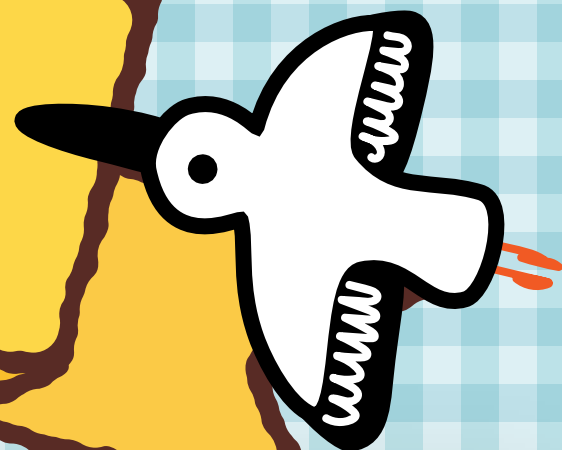
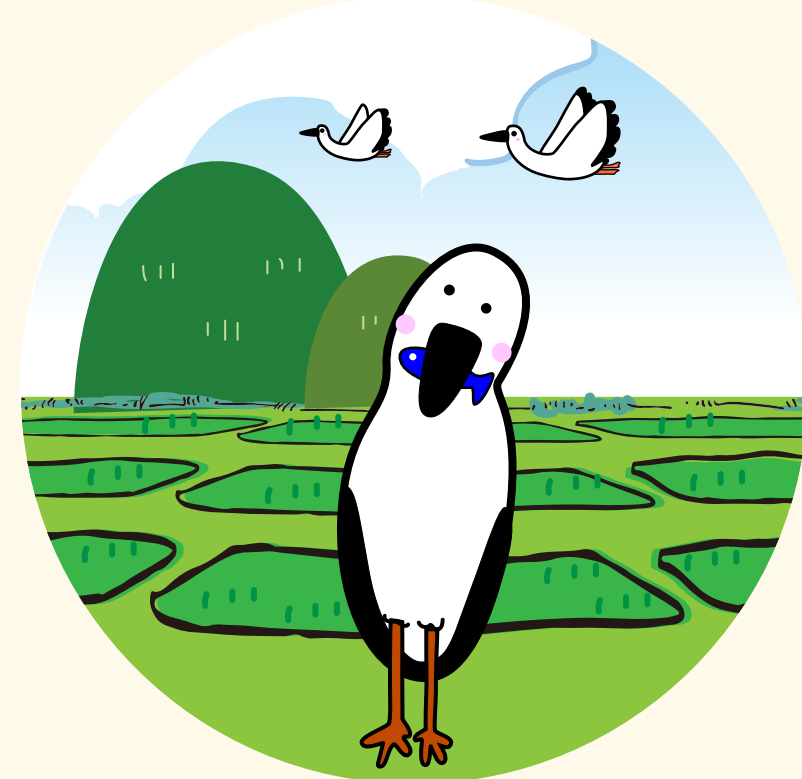


のだ どうして野田でコウノトリ?



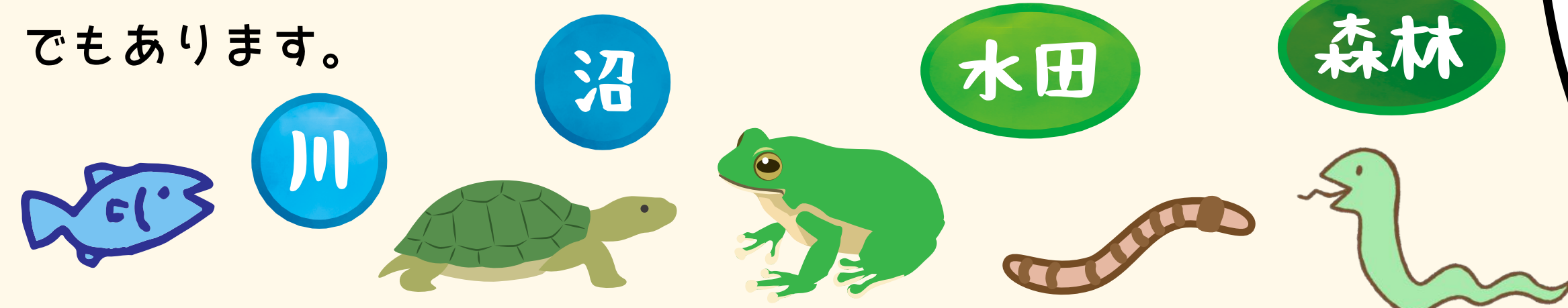
野田市のコウノトリを生物多様性のシンボルに据えて、「ヒトと自然が共生する街づくり」に取り組んでいます。

どうしてコウノトリ?



コウノトリは体が大きく、湿地や水田においては、食物連鎖(食べる・食べられる関係)の頂点に位置しています。

そのため、野外コウノトリが暮らせる環境を整えることは、エサとなる多種多様な生きものを含め、自然環境全体を守ることでもあります。



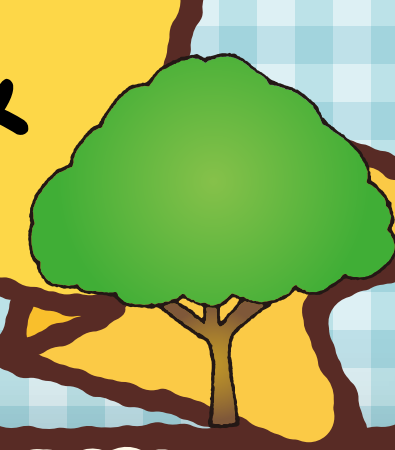
そして、豊かな自然を守ることは、私たちヒトの暮らしを守ることにもつながります★



野田市が目指しているのは、コウノトリを通じて、ヒトも生きものも安心・安全に暮らせる街をつくること★

皆さんと一緒に、ご協力をよろしくお願いします!

しぜん しぜん まも とく 市内の自然を守る取り組み



① 自然にやさしい黒酢米づくり

自然や生きものにやさしい農業を目指して、様々な栄養分が含まれている玄米黒酢を使用した稲作に取り組んでいます。

化学肥料や農薬の使用を半分以上に減らすことができます。



黒酢米は、市内の給食で採用されています★

ぜひご自宅でも食べて、農家さんを応援♪

① ふゆ水田んぼの実施

イネを収穫した後の田んぼは、水を抜くことがほとんど。

しかし水が無くなると、生きものが行き場を無くしてしまいます。

そこで、収穫後の冬期も田んぼに水を張ることで、水辺の生きものの棲みかを守ることができます。



希少種のニホンアカガエルは1～3月に田んぼなどの湿地で産卵するため、水を張っている繁殖地を守れる♪



ニホンアカガエル

③ 希少な生きものが生息する地区を調査・保全

毎年実施している環境調査では、希少な動植物が生息している地区を調べ、生息環境が損なわれないように保全しています。